

# まちかど

# アルバム



## 大迫力の水中花火

### 船磯海岸

7月30日（金）、気高町の夏の風物詩「貝がら節祭り」の目玉イベントの1つ「大水中花火大会」が船磯海岸で行われました。見物客が砂浜で待っていると、港の堤防から投げ込まれた花火玉が海面近くで破裂。轟音とともに火花が花咲くように広がりました。ほかにも、スターミンやナイアガラなど全部で約1300発の花火が打ち上げられ、訪れた人たちは夏の夜を満喫しました。

## 中心市街地に子育て支援施設が完成

### 本通商店街

8月1日（日）、本通商店街に子育て支援施設「スペース Comodo（コモド）」がオープンしました。これは、鳥取本通商店街振興組合と社団法人「地域サポートネットワークとっとり」が、商店街の振興と子育て支援を目的に共同で開設したものです。オープニングセレモニーでは、同組合理事長・林英夫さんはやしひでおや同法人代表理事・山口朝子さんやまぐちあさこ、利用者代表の親子、竹内市長らがテープカットを行い、施設のオープンを祝いました。



## 本場のサーカスに沸く

### 市民会館

8月2日（月）、市民会館で「レニングラードサーカス」が開催されました。これは、同館のリニューアルオープンを記念して、市民のみなさんに本物のサーカスを見てもらおうと、ロシアのレニングラード国立舞台サーカスを招いたものです。クマの曲芸コーナーでは、飛び入り参加のちびっ子が投げたボールをクマが見事キャッチすると、場内から歓声と拍手がわき起こりました。

## 砂像作りって楽しい♪

### 清流茶屋かわはら

8月7日（土）、道の駅「清流茶屋かわはら」で、今話題の砂像制作の楽しさを体験してもらう「ミニ砂像体験教室」が行われました。参加者はサンドパルととりの砂像マイスターに教わりながら、高さ約30センチの砂の塊をペインティングナイフで彫刻。アニメのキャラクターなど思い思いの作品に挑戦しました。参加した親子連れらは、完成後、作品の前で記念撮影するなど大満足の様子でした。



## 期間限定の動物園がオープン

### 砂の美術館

8月7日（土）から11日（水）までの5日間、砂の美術館に期間限定の移動動物園が開園しました。同館第4期の展示テーマがアフリカということで、ケープペンギンやコシベニペリカン、ケツメリクガメなど、アフリカに生息する7種の動物が集められました。開園初日には、福部保育園の園児16人が、動物園の1日園長となった山岡政恵園長と来場。ペンギンに餌をあげたりカメの甲羅に触ったりして、動物たちと触れ合いました。



## 真夏のらっきょう植え付け体験

### 福部町海士

8月9日（月）、福部町海士の実習農場で、福部中学校の1年生20人がらっきょうの植え付け体験を行いました。JA鳥取いなば福部支店の職員から植え付け方法を教わった後、全員が横一列になり作業開始。照りつける日差しのなか、握りこぶし1つ分の間隔に1球ずつ植え付けました。作業が終わった生徒たちは「暑いし腰が痛いです。らっきょう作りの大変さが良く分かりました」と汗だくで語っていました。



## 万葉集ゆかりの地で最後の授業

### 国府中学校

7月15日（木）、国文学者で奈良県立万葉文化館館長の中西進さんが講師を務める「中西進の万葉みらい塾」が、国府中学校で開催されました。平成15年に始まった授業は全都道府県で開催され、今回が最終回。最後の開催地として、大伴家持が万葉集最後の歌を詠んだ国府の地を選んだそうです。生徒たちは、中西さんの優しい口調とユーモアを交えた万葉集の話に、熱心に聴き入っていました。



## 座禅で心静かに

### 用瀬町鷹狩

8月3日（火）、用瀬町鷹狩の大安興寺で、大村地区公民館が主催する阿字観（座禅）体験が行われ、夏休み中の小学生19人が参加しました。副住職の桜井宥光さんから座禅についての話や座り方、呼吸法などを教わった児童たちは、約30分間の座禅に挑戦。緊張した雰囲気の中、普段とは違う静かな時間を過ごしました。「すごく心が静かになった」「集中できた。家でもやってみよう」と話すなど、良い経験になったようです。



## ボールは”どっち？”

### 鹿野町勝谷地区

7月26日（月）、鹿野町勝谷地区内の休耕田で、夏休み中の子どもを対象にした「泥田でドッチボール」が行われました。当日は30度を超える暑さのなか、地区内外から25人の子どもが参加。泥でぬかるんだ田んぼでドッチボールやそり引きレースを楽しみました。日焼けで肌が真っ黒の子どもたちは、服が汚れるのも気にせず夢中で、友だちと走り回っていました。

